

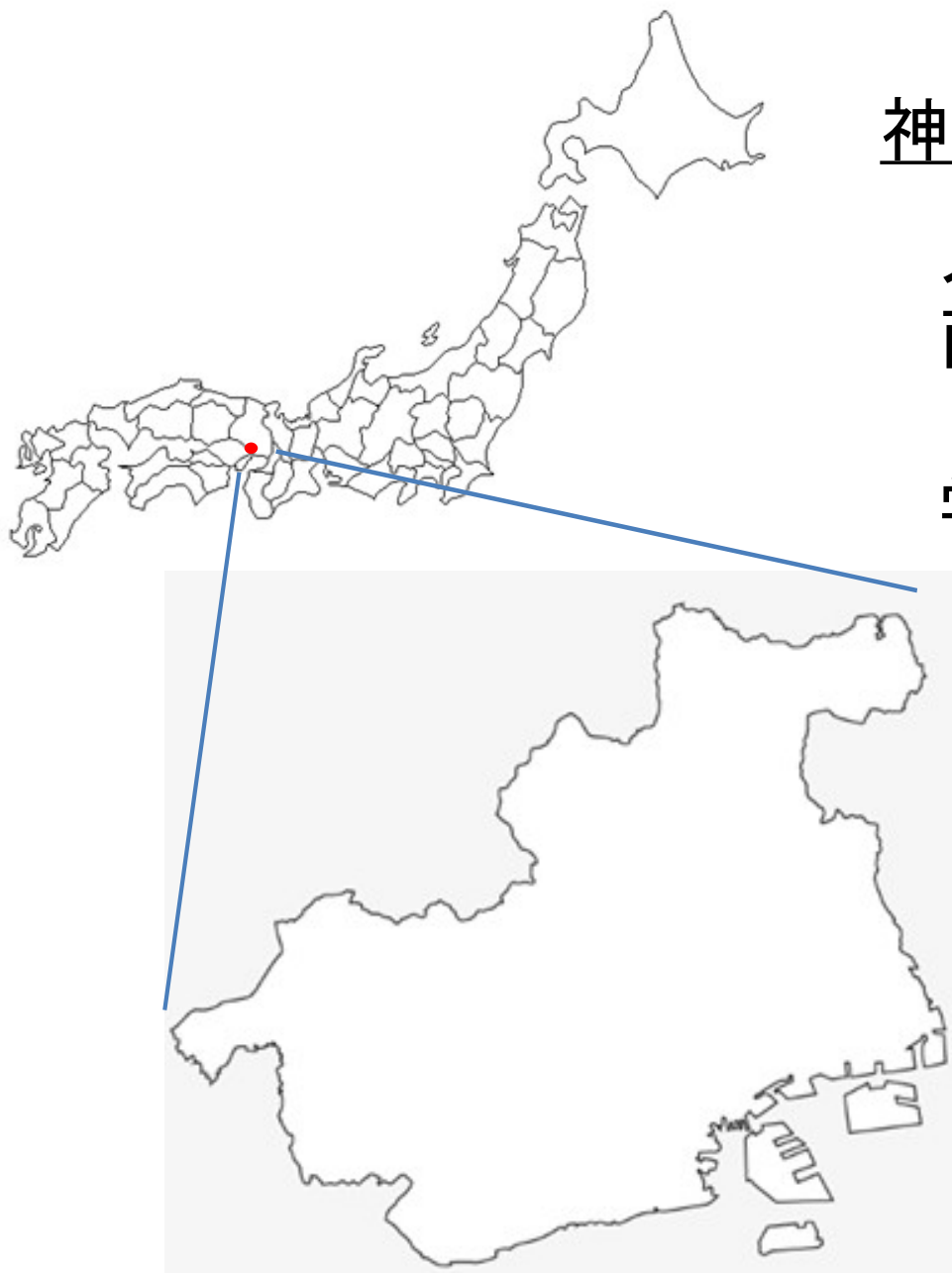
神戸市教育委員会における、 I T 資産管理への取組み状況

平成30年6月8日

神戸市教育委員会事務局総務部
業務改善・情報監理担当課長 亀井 浩司



神戸市の市立学校園



神戸市（9行政区）

人口：約150万人

面積：約560km²

学校数 (H30. 4. 1現在)

幼稚園	:	39園	
小学校	:	163校,	1分校
中学校	:	81校,	3分校
特別支援学校	:	5校,	1分校
義務教育学校	:	1校	
高等学校	:	8校	



職員数・児童生徒数

<職員数> (H30. 4. 1現在)

事務局職員		約400人
教員		約8,500人
学校職員(学校事務職員等)		約1,000人
その他(支援員等PC使用しない)		約1,000人
合計		<u>約11,000人</u>

<児童生徒数> (H29. 5. 1現在)

幼稚園	41園	約2,100人
小学校	163校	約75,400人
中学校	81校, 2分校	約35,000人
特別支援学校	5校, 1分校	約1,100人
義務教育学校	1校	約800人
高等学校	10校	約6,300人
合計		<u>約120,700人</u>



対象ハードウェア数・利用ソフトウェア数

<対象ハードウェア数> (H30.4.1現在)

教員用端末 約9,300台

児童生徒用 約9,900台

その他（高校教員用含む）
約2,400台

合計 約21,600台

<利用ソフトウェア数> (精査中：H30年5月時点)

利用ソフトウェア数 約1,800種類 約240万本

うち有償ソフトウェア 約 300種類 約 25万本



昨年度までの取組み状況

平成25年度 旧システム稼動
(神戸市教育委員会 独自システム)

平成27年度 (外部事業者による) 成熟度評価実施
(管理目標 1～5)

- 評価を実施した5つの管理目標（方針・体制・コンピテンシー・保有・導入）で成熟度レベル2（ルールはあるが、実行できていない）と判定
- 「規則に則った運用の開始」「適切な管理の実現のための、管理システムの確立」などの指摘を受けており、速やかに対応する必要がある。
- SAMが必要とする教育が適切に実施されている状況にはない
- 現時点ではすべてのデータが投入され運用が開始されている状態とはなっていない



(改善に向けての) 組織的な考慮事項

SAMの管理において、各種申請手続などで教頭や情報担当教諭に相当な負担を強いており、「規則に則った運用の開始」のために、多忙化対策の観点からも、これ以上の負担をかけることは難しい。また、事務局側の負担も次第に高くなっている。



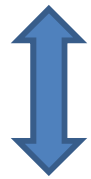
(改善に向けた) 対応方針

学校現場の負荷を減らし、
なおかつ 管理レベルを向上させる
(可能ならば、事務局側負荷も軽減したい)



【例】負担の例

- ・ 現場（教頭など）の知識不足
- ・ // 調査時間等の不足



やり取りに時間を要し、
必要な時期までに調達できない

- ・ 事務局のチェック増、調査指示

【現実には・・・】

- 事務局担当よりメーカーへヒアリング
- ・ ソフトウェア名
- ・ ライセンス形態、条件、価格等

調達申請書の一部

1. 調達するソフトウェア

メーカー名	
ソフトウェア名・エディション・バージョン	Windows デスクトップ版 Edition 1
ライセンス数	校内ライセンス 1
調達しようとするライセンス形態	その他 学校内サイトライセンス
元ソフトウェア管理番号	

（事務局担当が）
手書きで訂正し、
それを申請→承認
している



改善に向けた取り組みの方針(1)

～ 目標管理レベルの設定 ～

- 成熟度レベル2 (ルールはあるが、実行できていない)
- 規則に則った運用の開始、管理システムの確立が必要
- 教育が適切に実施されていない

【再チェック】

ソフトウェア資産管理基準 (Ver. 4.1) の管理要件・
管理項目 → 「もう少し頑張ればできること」

- 「もう少し頑張ればできること」を基本に
管理規定 (管理基準、手順書など) を見直す。
- PDCAサイクルを確実に実施する。



改善に向けた取り組みの方針(2)

～ 管理システムの更新 ～

現（旧）システムを更新するとして・・・

- × 独自で再構築するノウハウがない
- × 次々と発生する新要件（ライセンス条件）にタイムリーに追従できないのではないか
- × 新システムの操作を学習する（させる）余力があるのか。



新しいシステムには、

- パッケージシステムを導入する
 - パッケージをノンカスタマイズで利用し、新要件（ライセンス条件）にタイムリーに追従していく
 - システム操作を代替する専門担当者確保する
- 追加 全てのデータを管理対象とする

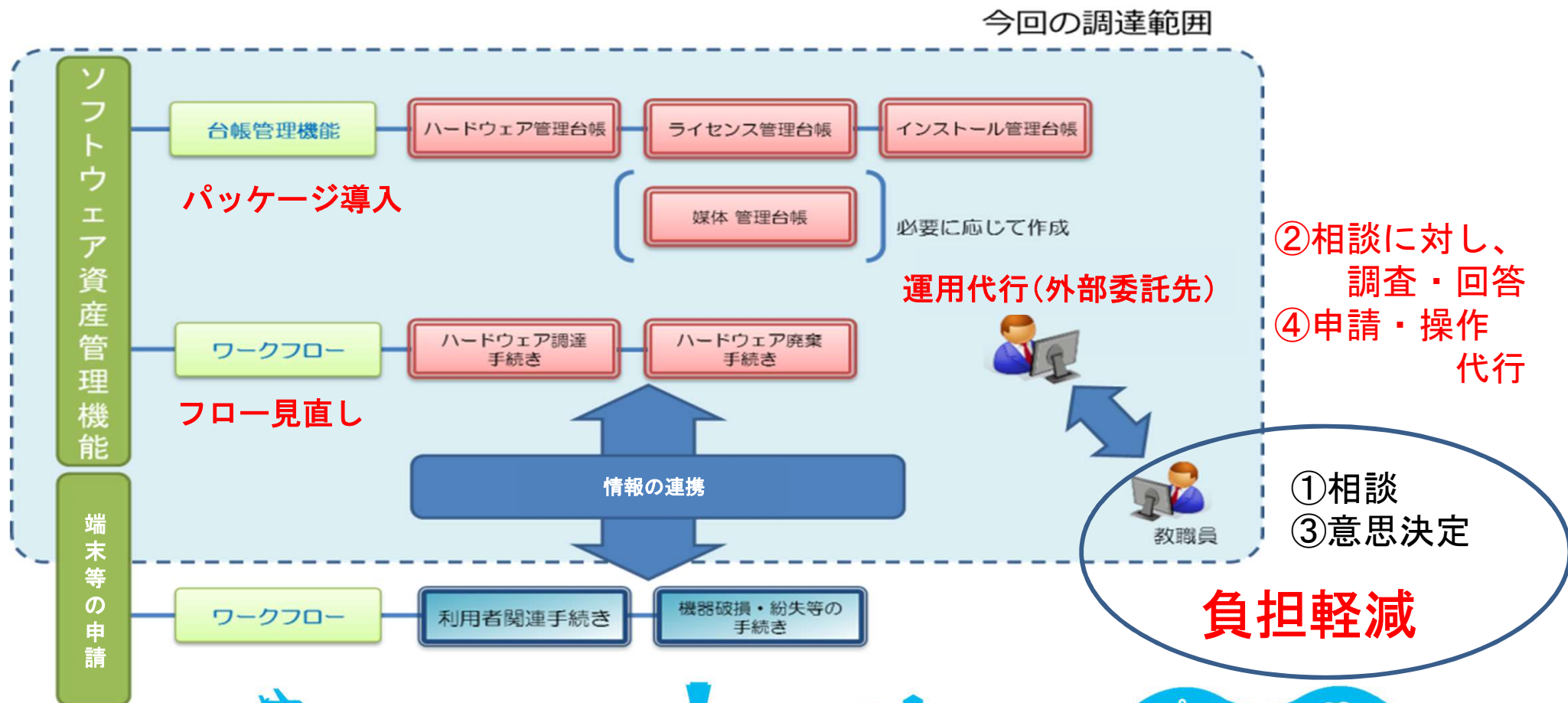


改善に向けた取り組みの方針(3)

～ 管理体制の見直し ～

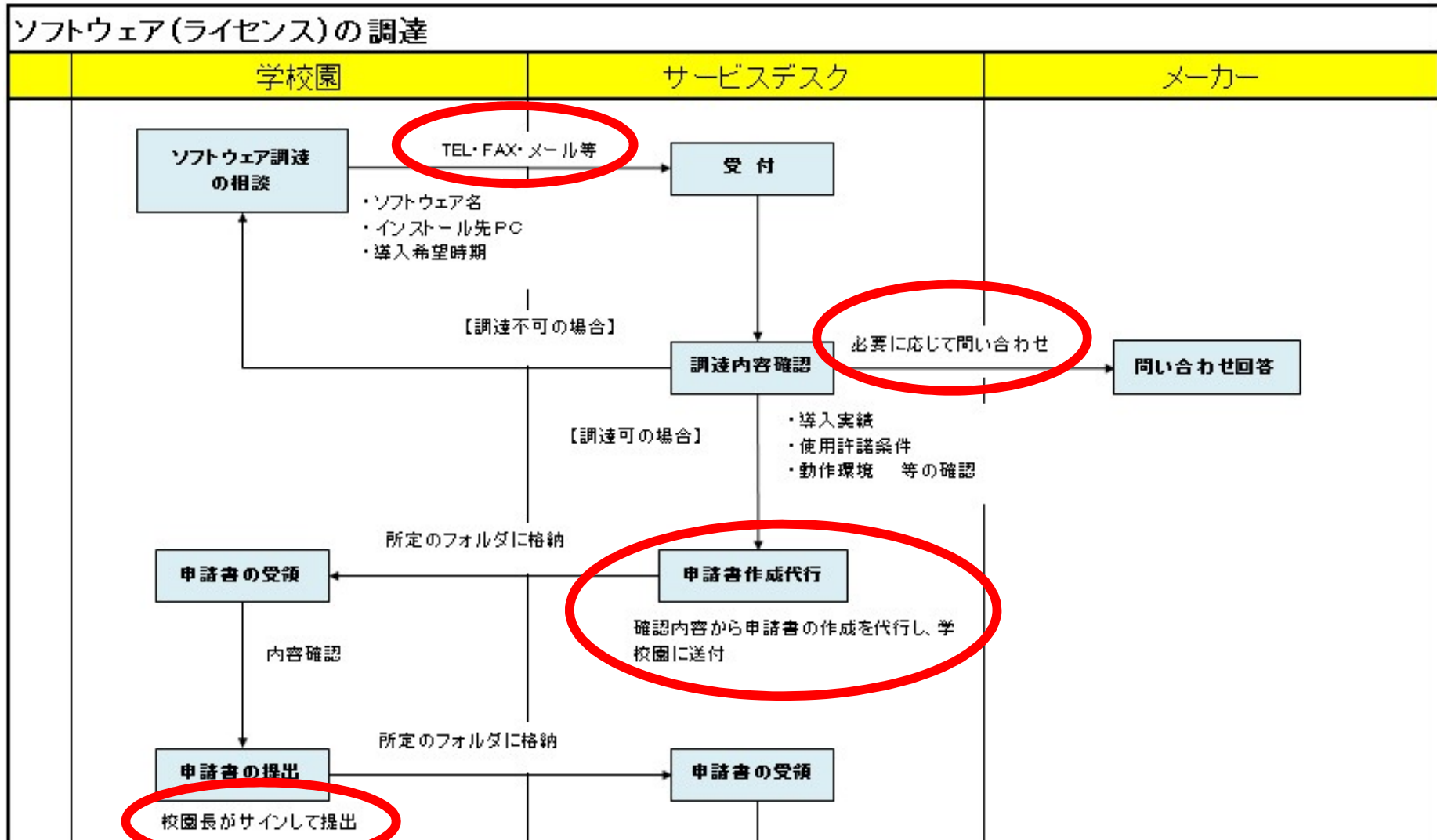
調達をはじめとする各種の申請手続を、

外部委託先で代行する



取り組み方針の具体化(イメージ)

【例：ソフトウェア調達・インストールの申請】



取り組み方針の具体化(イメージ)

【例：申請書】

ソフトウェア調達・インストール申請書

学校園からの申請

学校園でソフトウェア
(ソフトウェア名) を導入したい。

導入先のPCは を予定している。(別紙参照可)

導入希望時期は をお願いします。

その他要望事項

担当者名: 連絡先(TEL):

サービスデスク 補足

以下、ソフトウェアの調達・インストールを申請します。

ソフトウェア名	<input type="text"/>
---------	----------------------

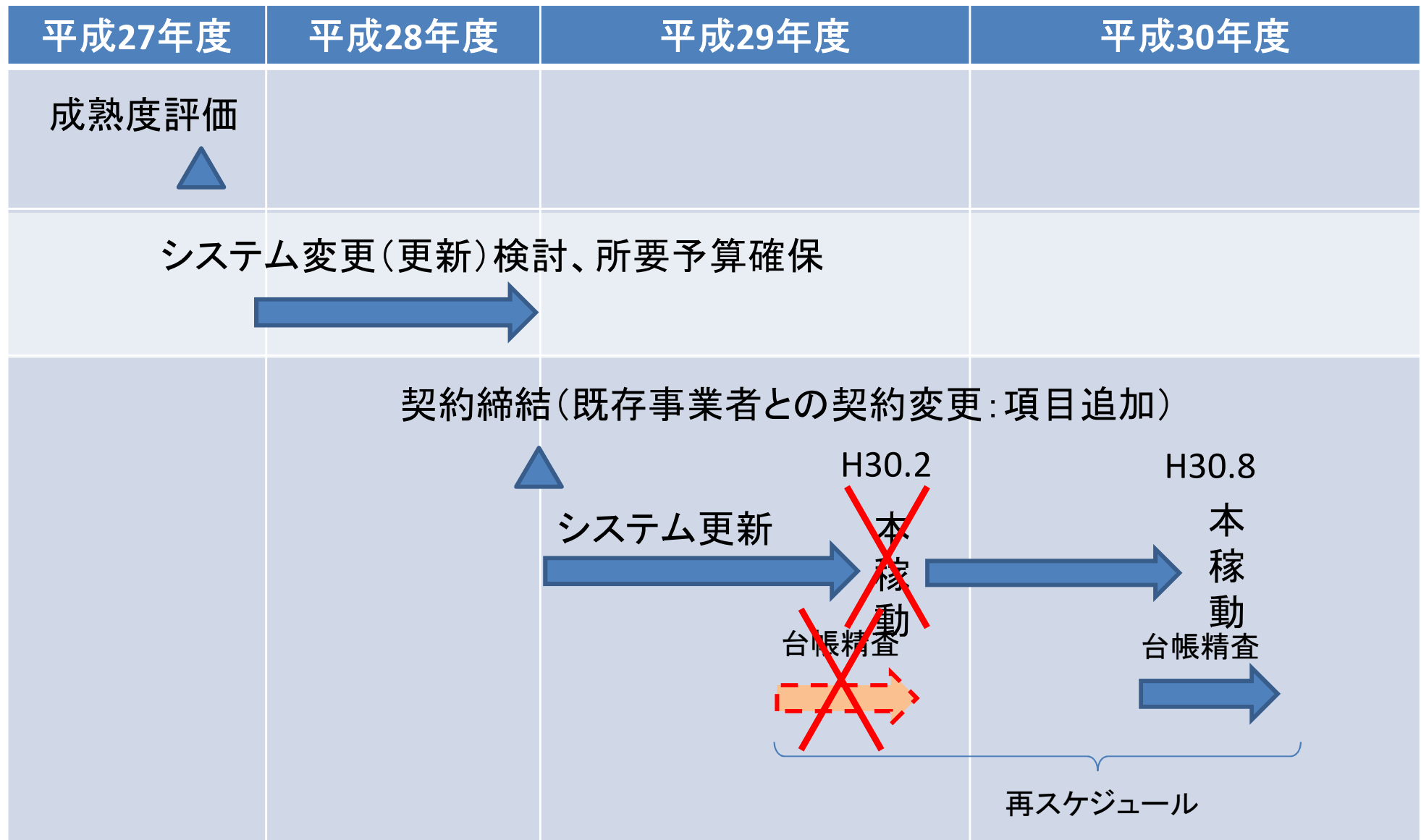
外部委託業者が
学校園から
要望を聞いて
記入する

外部委託業者が
メーカー等に
正確な情報を
確認して、
記入する

以下、ライセンスの形態や調達の単位、概算額などの記載欄に続いています。



作業スケジュール・進捗状況



問題点・課題(1)

～ 現状把握 ～

現台帳を基に、学校園に存在するハードウェア・ソフトウェアを **再調査** し、台帳の精査を行う。

【問題点①】

管理対象外となるハードウェアが存在している
例) P T A等の持込みP C

【対策】

管理対象外のハードウェアについて、

- ・ 管理対象外シールの貼付けを依頼
- ・ 可能な範囲で写真を撮る

→ 設置場所、写真を市教委側で把握し、
「管理対象／対象外」情報を管理していく



問題点・課題(1)

～ 現状把握 ～

【問題点②】

これまで不足していた管理項目の情報収集
例) アカデミック価格のボリュームライセンスが
「アカデミック」または「ボリューム」の
いずれかのみで管理されている。

【対策】

新たな管理項目記載用の調査様式を作成し、

- ①集中管理しているソフトウェアは、
外部委託先により全数再チェックする。
- ②現場で管理しているソフトウェアは、
可能な限り集中管理化した上で再チェックする。



問題点・課題(1)

～ 現状把握 ～

【問題点③】

学校園が多忙で、

- ・ 何度も調査を依頼できない
- ・ 通常時は、複雑な調査を依頼できない
(担当者にレベル差があるため、世間では一般的な依頼内容でも、本市教委では、複雑と感じる担当者が多いと想定される)

【対策】

- ①調査時期は、事前アナウンスの上で、
夏休み（前半：7月下旬～8月上旬）実施とする。
- ②調査・依頼内容等を精査の上、簡易なマニュアルで作業指示を行う。



問題点・課題(2)

～ 私たち(制度所管部署)の理解 ～

制度所管部署が、SAM (ITAM) や各種規定類、運用実態を理解し、PDACサイクルによる管理・運用を実施していく必要がある。

【問題点】

- ・ 専任体制が確保できない。
- ・ 人事異動サイクルの問題もあり、担当間にレベル差が生じてしまう。

【対策】

今回 **外部委託業者、関係者に協力いただき**、規定変更、運用変更に取り組んでいる。

今後 事務局内の作業も含め**外部委託化すること**に加え、**CSC研修受講**等により職員側も最低限のレベル維持を図っていく。



問題点・課題(3)

～ 外部委託先との意識共有・情報共有 ～

外部委託先には、管理基準他の各種規定類を理解していただいた上で市教委と意識共有・情報共有し、SAMに取り組んでいく必要がある。

【問題点】

担当される方の（本市教委）各種規定類の理解不足や、SAMへの取組み方の（本市との）温度差を感じることもある。

【対策】

今回 外部委託業者、関係者に協力いただき、協議の中で運用開始を目指している。

今後 下記2点を義務付けた契約締結を目指したい。

- ①外部委託業者の担当者はCSC有資格者
- ②本市教委の実情を把握し、リスクアセスメント（案）を定期的に提示する。



これからの取組み

【当面の作業】

○現状把握

早々に把握に努める必要があるが . . .

- ・ 多忙な教員 → **夏休みに再調査**を実施

○研修

本当は全員に知識習得してもらいたいが . . .

- ・ 教員に求めるSAMの知識
 - 勝手な調達等を行わない
 - まずは、**サービスデスクに相談**
- ・ 6月下旬の校長研修で運用変更（概要）説明
 - 詳細は内部通達等で連絡する

8月稼動（運用変更）を目指しています



これからの取組み

【システム稼動以降】

○SAMに関する改善案を収集する仕組みの構築

→ 研修時にアンケート（自由意見）を実施、評価し、改善につなげていく

○教育の在り方

→ 外注化により学校現場が習得すべき内容は少なく（レベルは低く）するが、年度途中異動者に研修実施するなど教育機会は増やし、適切な管理が出来る可能性を高める。
また、監査人（内部：独立型）に求められる能力を担保するため、外部研修等を利用した教育を実施していく。

○リスクマネジメント

→ 継続して実施していく必要があるが、市教委が独力で実施できるメドがついていない。
今後、コンサル導入も含めて検討していきたい。



BE KOBE



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

